

わ おん 輪 音

vol. 19
2024.12

編集・発行／山梨県看護協会 峡東地区支部

連絡先 峡東地区支部 支部長 一瀬 貴子 (山梨リハビリテーション病院)

電話0553-26-3030

the Kyoutou branch of
Yamanashi nursing association



“輪音第19号” 発刊によせて

公益社団法人山梨県看護協会 峡東地区支部長

一瀬 貴子

平素より、峡東地区支部の皆様には地区支部活動にご理解・ご協力を頂き感謝申し上げます。また、新型コロナウイルス感染はまだまだ収束したわけではなく、私たちの現場を脅かしています。その現場で感染対策への取り組みを継続し、人々の生命と生活を守るために日々取り組まれている皆様に敬意を表します。

峡東地区支部では、1.病院・施設・地域の連携による地域包括ケアの推進 2.看護職が働き続けられる環境づくりの推進 3.看護思想と看護協会活動の普及啓発の推進 4.教育研修による看護の質向上の推進を目標に掲げ、支部活動を行っています。研修での学び合い、地域での活動、会員確保に向けた取り組み等を推進してまいります。

令和6年度の定期総会は5月31日に開催され、記念講演では、「ヤングケアラーについて～看護職として何ができるか～」と題し山梨県立大学の伊藤健次先生にご講演いただきました。社会問題となっているヤングケアラーですが、看護職としての支援を考えさせられる内容でした。時代背景の中で、ケアは基本的に家族の責任とみなされてきたこと、公的な福祉制度は家族のケアが及ばない場合の補助的機能という考え方が現在も存在し、ケアの担い手の権利侵害を生じさせていることを学びました。看護職として、年齢・性別に関係なく

日常生活の世話をを行っている人の権利が阻害されていないかに注目し、その個人の権利も考えながら支援に繋げる必要性や、地域連携における家族支援を学び、今までの実践を見直す機会になりました。

峡東地区における災害対策も重要な問題であり、今年度の“現場に活かす研修”は、「峡東地区に起こりうる水害について」というテーマで計画いたしました。災害は年々多発しており、地球温暖化に伴った気候変動による豪雨や台風による被害は拡大していること、30年以内にマグニチュード7クラスの首都直下地震等が70%の確率で発生することが予測されています。災害に関する研修は来年度も継続して実施していきたいと考えています。

また、地域の方々と触れ合いも大切にしていくために、2月18日笛吹市市民公開講座に共催し、「認知症講演会」を実施します。

「輪音 第19号」には、好評であるフレッシュマンからの感想に加え、プラチナナースの記事を掲載しています。人生100年時代健やかに働き続けるために、プラチナナースの活躍を共有したいと思います。今後とも会員の皆様の持つ看護の力が発揮できるよう、また看護の質の向上を目指し、役員一同努力してまいります。どうぞ、峡東地区支部活動へのご支援・ご協力をお願いいたします。

機関紙「輪音」第19号発刊によせて

公益社団法人 山梨県看護協会 会長 佐藤 悦子



峡東地区支部の皆さま、日頃より看護協会事業の推進に深いご理解とご協力をいただき心より感謝申し上げます。

令和6年は1月に能登半島地震が起こり、8月には南海トラフ地震臨時情報(巨大地震注意報)が発令され、続いて台風10号で各地に被害が出るなど、またいつ来るかわからない自然災害に対する脅威が一層高まっております。さらに、今収束しない新型コロナウイルス感染症に加えて世界各地から新たな新興感染症発生への報告もあり、今まで以上に緊張感ある健康危機管理意識の強化が求められます。

看護協会長として就任させていただき、2期目2年目に入りました。看護協会の使命は「専門職能団体として、看護専門職の力を発揮し、県民の健康な生活の実現に貢献すること」です。人々が健康を獲得・増進し幸せな生活が送れるよう、私たち看護職は保健・医療・福祉等のあらゆる場面で専門職として活動し、看護協会はその看護職の資質の向上と働きやすい職場環境づくりに向けて組織的に活動を行っています。言い換えれば、理事会を核にして地区支部活動や職能活動、委員会活動を通して会員の皆さまとともに、自分たちのために創り上げていく活動だと言えます。

平時はもちろんのこと、有事の時まずは自分と家族の生命

優先、安全確保をした上で、看護を必要としている人に可能な限り看護を実践する。そのためには、今何を準備しておいたらよいのか、一人一人のパワーが効果的に発揮できるためにはどのような組織体制を創っていったらよいのか、日頃から準備を行い、具体的に動ける看護職・看護協会でありたいと考えています。峡東地区支部の皆さま、ご自身のまた峡東地区としての準備状況はいかがですか。

峡東地区の会員は2024年8月25日時点で1,220名です。2023年度の最終会員数は1,260名でしたので、昨年度の会員数にまだ達していないという状況です。一人でも多く看護職の仲間を増やし、ともに専門職能団体として自分たちの課題に取り組んでいけたらと考えます。目標会員数は6,000人で、これでも県内看護職の53%にしかありません。周囲に非会員の看護職の方がいましたら、是非入会をお勧めください。

協会活動に対する地区支部の皆さまの声は、一瀬貴子峡東地区支部長様、矢崎貴恵・佐野里美地区理事様を通しお届けください。「みんなで創る協会」を根幹に据え、皆さまのご理解、ご支援をどうぞよろしくお願いいたします。

入会しましょう

山梨県看護協会に



こんな特典があります

1. 日本看護協会の看護職賠償責任保険制度に任意加入できます。(会費納入済者に限る)
○お問い合わせ：(株)日本看護協会出版会 ☎0120-088-073
2. 山梨県看護協会の研修、日本看護協会の研修へ会員料金での参加や図書室が利用できます。
3. 看護の今を紹介する「看護協会ニュース」をお届けしています。
○年3回発行の山梨県看護協会の会報誌(やまなし看護協会ニュース)
○月1回発行の日本看護協会の会報誌(日本看護協会ニュース)
4. 山梨看護学会への参加や研究成果の発表ができます。
5. 専門・認定看護師資格の取得準備ができます。
6. 研究会、勉強会に山梨県看護協会の研修室や会議室が利用できます。
7. 看護に関する情報をいち早く入手できます。

会員特典サービス

山梨県看護協会では会員向けサービスを行っています。リフレッシュに、家族サービスにご利用いただけます。

- | | | |
|--------------------|---------------------|-------------------|
| ①鍼灸マッサージ | ②FUJIYAMA倶楽部(施設割引) | ③スパランドホテル内藤(利用割引) |
| ④(株)ヤマダホームズ | ⑤アピオ甲府「アシュートデセルセレス」 | ⑥甲府記念日ホテル |
| ⑦サンリオピューロランド(施設割引) | ⑧神の湯温泉(利用割引) | ⑨大和ハウス工業(株)(割引特典) |
| ⑩甲信マツダ(新車ご成約特典) | ⑪タカラレーベングループ(割引特典) | |
| ⑫中央法規出版(株) | ⑬クア・アンド・ホテルグループ | ⑭結婚相談所ツヴァイ |

●詳細は、ホームページ「会員特典」をご覧ください。 <http://www.yna.or.jp>

山梨県看護協会峡東地区支部からお誘いいたします

地区支部管内の看護師の多様なニーズにあった研修が行われるよう企画されています。有名講師をお呼びして、研修会が開かれます。講師から直接お話を聞き、意見交換をすることで、考えたり悩んだりしていることが解決することもあります。また地域管内の看護職の集まりですから、堅苦しくなく情報交換の場にもなります。それになんといっても近くで開催されますから、看護に関わる新情報が伝わります。多くは看護協会ニュース等でもお知らせが入りますが、身近でキャッチしていきましょう。

入会についての問い合わせは山梨県看護協会まで ☎055-226-4288

就職しての
感想を
うかがいました

フレッシュマン



石和温泉病院
石井もも香

看護師として働き始めてから4ヶ月ほど経ちました。入職した当初は、分からないことに加え、同期の看護師がいなくてもいい、これから働いていけるのか不安がありましたが、優しい先輩方の指導の下、今はのびのびと働いています。回復期リハビリテーション病棟では、患者様の日常生活のサポートを行い、リハビリ環境を整えることを中心に行っています。医療処置は少ないですが、日々のケアや思いの傾聴など一人一人の患者様とゆっくりと関わることができ、やりがいを感じています。

まだまだ未熟ですが、立派な看護師となれるように自己学習に励み、「患者様に寄り添う看護を行う」という信念を忘れずにこれからも頑張っていきたいです。



石和共立病院
林 弓実加

看護師として働き始めて4ヶ月が経過しました。入職当初は全てのことに緊張と不安を感じ、自分の看護に自信を持てませんでした。患者さんに対し、丁寧な声掛け、関わりをしている先輩をみて私も患者さんに寄り添い一人一人丁寧に関わる看護師になりたいと改めて感じるようになりました。徐々にできることが増えていくことや患者さんから「優しいね」と言葉をかけていただくことが、自信に繋がっています。まだまだ、知識も技術も満足できるものではありませんが、自分の看護に自信と責任を持ち日々努力していきたいと思っています。



甲州リハビリテーション病院
橘田 莉奈

4月に入職し、新しく覚える事や初めて多くの患者さんと関わらせていただく中で、様々な事に戸惑いながらも先輩看護師の力を借りたり、患者さんと関わる姿を見学したりしながらこの3ヶ月間、たくさんの学びを得てきました。知識や技術など、まだまだ不足な部分はありますが、患者さんとの関わりを通じて1つでも多く患者さんの想いに近づけるようにと意識して看護を行ってきました。毎日悩みながらも、少しずつ楽しさも感じる事ができるようになりました。日々精進しながら、患者さんが入院中だけでなく、退院後の生活もその人らしく生活できるように、何が必要なのかを考えられる看護師になっていきたいと思っています。



日下部記念病院
三枝 蒼

4月に入職して4ヶ月経ちました。高校生のインターンシップの時に統合失調症の方と関わる機会があり、その時から精神科看護に興味を持ちました。看護学校へ入学し、精神科実習を通して改めて精神科看護を学びたいと思い、今私は急性期病棟で精神疾患を持つ方たちと関わらせて頂いています。入職し最初はどのように患者様に声をかければ良いかわかりませんでしたが、先輩方から患者様との関わり方を教えて頂きながら日々関わっています。患者様からいろいろな教えて頂くこともあり、日々勉強になることが多いです。まだ分からないことだらけで教えて頂くことが多いですが、早く先輩たちの力になれるよう頑張っていきたいなと思っています。



峡東保健福祉事務所
鍋谷 咲希

健康支援課に配属となり、主に難病や小児慢性特定疾病の支援業務に携わっています。初めてのことで不安もありますが、先輩方が優しく丁寧に指導くださるおかげで、ようやく業務に慣れてきたように思います。

特に、ALS患者・家族との面接や家庭訪問を通して、今の病気の困りごとをみるだけでなく、生活歴や毎日の暮らし、家族や社会との繋がりがりなど、あらゆる視点から対象者をみることが大切だと感じています。

多様な社会背景の中に一人ひとりの生活と健康があることを念頭に置き、関係機関と連携しながら丁寧に保健活動を展開していきたいです。また、学び続ける姿勢を大切にして、保健師としてのスキルアップに努めていきたいと思っています。

プラチナナース

Platinum Nurse



山梨市役所

矢崎 貴恵

重ねた年齢を誇れる看護職を目指して

多くの方々に支えていただきながら、山梨市役所の保健師として勤務し、今年3月に退職いたしました。

ご縁をいただき、4月から市の総合政策課で、「教育民生統括監」として働かせていただいております。仕事の内容は、市民の暮らしや健康に直接関係する7つの課を担当し、市民サービス向上に向けて働く職員を、下支えさせていただくものです。これまでと違い、直接市民の健康づくりに携わる立場の仕事ではありませんが、今までと違ったことを学ぶことも多く、後輩の皆さんが少しでも成果を上げられるようお手伝いすることができるのでやりがいを感じています。

最近では、私たちのような年代の看護職を、「プラチナナース」という素敵な名前と呼んでいただいておりますが、名前に恥じないよう安定して錆びない自分であるために、仕事もプライベートもスキルアップを図りながら充実して過ごしたいと思っています。そして後輩の皆さんに、「年齢を重ねるのも悪くはない」と、少しでも思っていたら嬉しいです。

結びにアインシュタインの名言を自分自身と皆さんへのエールとして送ります。

～過去から学び、今日のために生き、未来に対して希望を持つ。大切なことは何も疑問を持たない状態に陥らないことである。～



勝沼ナースセンター

平野 好子

互いを尊敬しあう関係が好き

私は、准看護師として長い間、病院に勤務をしてきました。46才の時に、初めて介護老人保健施設で働き始め、右も左もわからず病院とも業務内容が大きく違う為、不安でいっぱいでした。

病院では、医師が常駐されている為、急変等があっても直ぐに対応出来ますが、施設では、ご利用者の変化に気づき、自分の判断で医師やご家族に対し正確な状態説明を行い、対応していくことが必要であり日々緊張しながら仕事をしております。介護施設では、ご利用者との関わり、ご家族との信頼関係を保つことが大切だと感じております。私も定年を過ぎてから、体力的な事を考えた時に、退職する事も考えましたが、看護師の仕事や人との関わりが好きであることに気づき現在も仕事をさせていただいております。

最近では、若い看護師も入職し、病院との違いに驚き、戸惑いなどもあるようです。私も病院を離れて長いので、最近の医療がわからなくなっている為、新しい人たちに私が出来る事を伝えるかわりに新しい知識を教えてもらい互いに切磋琢磨し、ご利用者やご家族に寄り添い、信頼関係を築いていきたいと思っています。

ご利用者、ご家族からの感謝の言葉・病状の変化にいち早く気付いた時、多職種とチームワークが取れるなど『人の役に立っている実感』がやりがいに繋がっております。



山梨厚生病院

渡辺久美子

生涯、現役！

プラチナナースって何？思わずネットで検索、まさに今の私自身であることに正直驚いた次第です。

今から2年程前になりますが、定年の日が近づくにつれ、私の一番の思いは、健康である限り働き続け社会との繋がりをもっていたいということでした。そんな思いから、現在、精神科病棟の夜勤専門の看護師として看護業務に携わっています。夜勤ばかりで大変ではと思われがちですが、ある意味、規則正しい生活を送ること、つまり生活リズムを整えることで、それほど負担に感じることはありません。

プラチナナースとして働くには、私のように、これまで勤務した職場で引き続き働いたり、その他求人に応募、また、起業する、フリーランスになるといった選択肢があるようですが、やはり、勝手がわかっていて同じ職場で働けるのであれば、人間関係の構築という観点からしても、メリットがあるように思います。

人生100年時代と言われています。もうすでに後半戦に突入しているわけですが、。

後半戦も楽しく（私にとっての楽しいとは、やりがい、生きがいをもってということです）過ごすことができればと思っています。そして、大袈裟かもしれませんが、私と言う存在が、ほんの少しでも、誰かの何かのお役に立てることが出来れば、うれしい限りです。

職場紹介

Isawa onsen hospital nursing department

石和温泉病院 看護部

石和温泉病院は、2024（令和6）年8月25日に創立60周年を迎えました。Total Health Careという病院の理念のもと、回復期リハビリテーションを中心に健康増進センタークアハウス石和での予防医療（人間ドック）から総合在宅支援（通所・訪問リハビリ、デイサービス）まで一貫した体制をとっています。

看護部では「責任と継続性のある質の高い看護を提供する」を目標に、患者さまへ安全で安心、継続的かつ効果的なケアを提供できるように2020年に看護方式を固定チームナーシングに変更しました。また看護職一人ひとりの目標管理、自己実現の支援において2022年からクリニカル・キャリアラダーシステム導入の準備を進めています。看護職は患者さま・家族とのコミュニケーションを通じて信頼関係を築きながらニーズを把握し、必要な看護や対策を考えて支援することで、感謝や喜び、仕事へのやりがいを実感することができます。忙しい時に聞こえてくる「やりたい看護ができない」はコミュニケーションが不足しているのかもしれませんが。これからも回復期リハビリテーション病棟の看護師として、患者さま一人ひとりに向き合い、ADLの回復や自立、退院に向けた看護を提供していきたいと思っています。



Kusakabe memorial hospital outpatient department

日下部記念病院 外来課

日下部記念病院は、日本三大急流富士川水系のひとつ、笛吹川をはさんで万葉の森を臨むことのできる自然豊かな場所にあります。

山梨県の認知症疾患医療センターとして県内認知症治療の一角を担い、今年4月には最新の認知症抗体医薬「レカネマブ」による治療を開始いたしました。1泊2日の検査入院後は外来で2週間に1回の点滴投与を行います。開始から3ヶ月が経過し、「レカネマブ」に対するお問い合わせや治療を開始する方が増えつつあります。また、治療抵抗性統合失調症薬の「クロザピン」による治療も行っており、その人らしい回復に伴わせていただいております。

地域生活継続支援として、精神デイケア「よつば」、認知症デイケア「さくら」、シニア世代のためのデイケア「つくし教室」があり、利用者さんの機能改善・維持に努めています。当院デイケアは医療保険の適用であり、介護保険未申請の方や介護保険サービスとの併用が可能です。気軽に利用できると大変ご好評をいただいております。

当院では「皆様に信頼される的確な医療を提供し地域社会の健康と福祉に貢献します」の経営理念のもと、今後も山梨県の精神科医療に貢献できるよう日々万進して参ります。



Enzan citizen hospital oral care team

塩山市民病院 口腔ケアチーム

近年、歯科口腔機能管理に関する医科歯科連携は、診療報酬上の評価も後押しとなり大きな進展をみせています。しかし、当院には歯科診療科がなく入院患者の口腔ケアには課題を抱えていました。そのため2009年には看護師が中心となり、院内多職種に協力を求め「口腔ケアチーム」を立ち上げ活動してきました。また、2010年からは近隣の歯科医師会の協力のもと、地域で開業する歯科医師・歯科衛生士の約30名が病院を訪問するという「病院・地域口腔ケア連携」もスタートし、より専門性の高い口腔ケアの提供体制が整えられました。この連携において、対象患者に関する情報共有のための方法は、歯科に介入を依頼する際の病院からの「情報提供用紙」、ケアに関わった関係者が様々な情報を記録する「連携ノート」、3ヶ月毎に関係者が集まり学習や情報交換する「合同カンファレンス」があります。また、地域関係者の訪問時には病院関係者も直接指導が受けられることで口腔ケア技術も向上してきました。このように医科歯科の専門的な視点を合わせた早期からの口腔ケア介入が、入院患者の口腔機能の維持・向上を図り、様々な合併症の予防や早期回復などにも繋がっていると感じています。



認定看護師の紹介

摂食嚥下障害看護 特定認定看護師

「ムセ＝誤嚥」や、食形態やとろみの濃度など誤った知識や経験値だけで判断や対応をいませんか？

私は今年度から認定看護師として、摂食嚥下機能の評価や、口腔ケア方法、食形態、食事摂取方法を判断し、誤嚥性肺炎、窒息などの予防や改善に取り組んでいます。その他、多職種で協働し、NST（栄養サポートチーム）として低栄養の改善に向けた活動の他、医師・ST（言語聴覚士）と共に嚥下機能評価の実施を行っています。

摂食嚥下障害看護は、脳神経・筋疾患や精神疾患、認知症など様々な疾患が原因となり、その特性から乳幼児から高齢者までの幅広い世代を対象とする分野になります。関東地区においても高齢化が進んでいます。病棟内で関わらせて頂いている患者さん方も90代の方が沢山います。今後もさらに加齢により摂食嚥下機能が低下している方へサポートする機会が増加し

●山梨厚生病院
摂食嚥下障害看護
特定認定看護師

安藤 惇



ていくことが予想されます。“食べる”ということは、生命活動として必要な栄養を摂取し、消化・吸収・代謝を行う生理的側面に限らず、家族との団らんや人生の節目の会食など精神的・社会的側面にも大きな意味を持っています。そのため、口から食べることは栄養を取り入れるだけでなく、楽しみや喜びでもあり患者さんのQOLに大きく関ります。患者さんの「食べたい」という気持ちを支え、一人でも多くの方が少しでも、長く安全に食べ続けられるよう、正しい方法と一緒に実践できる仲間を増やしながら、これからも支援をしていきたいです。

certified nurse

認知症看護 認定看護師

入院患者さんの中には、部屋が分からなくなってしまう、同じ事を何度も聞いてくる、治療に必要な処置を拒んだり安静にしていられない方もいます。そんな患者さんの対応に看護師も苦慮することが多いのではないのでしょうか。認知症を抱えた方は、環境の変化や見慣れない人とさらに治療が加わり、見慣れた家族がいない病室で不安や寂しさから混乱におちいってしまいます。そんな不安を少しでも軽減でき安心するためには、環境調整や積極的なコミュニケーションが重要であると考えます。

当院では、毎年認知症看護認定看護師の実習も受け入れており、実習生の専門的スキルを活かした関わりをチームで共有しながら実践しています。認知症で寝たきり、発語はないが小さな顔で意思表示をする患者さんがいました。家族のワードに反応がよいこと

●石和共立病院
認知症看護
認定看護師

風間 芳美



が分かり、家族との繋がりを大切にしたいと考えました。家族をいつでも感じられるよう、家族の写真を常に見える位置に置き、訪室時は写真を通して会話する時間を持つようチームで統一しました。その結果、あまり表情のない患者さんでしたが、開眼する時間が増え、時折笑顔も見せてくれるようになり、その変化に家族もとても喜んでました。患者さんにとって大切に思う家族の存在を、チームも同じようにくみ取り関わりに活かしたことは、患者さんの笑顔を引き出すことに繋がりました。これからも認知症患者さんの思いに寄り添える看護師でありたいと思います。

ほっ ひといき と一息 コーナー

リアルな家事動作の導入!!

●甲州リハビリテーション病院 4階病棟



回復期病棟での介護福祉士の役割は、患者様の身体ケアに加え、日々の関わりの中にリハビリテーションの視点を加えて、在宅復帰を目指した関わりが求められています。患者様の中には、病氣や怪我での入院を余儀なくされることで、ご自宅で担っていた役割を發揮できない日々を過ごしています。当病棟では女性患者様が6割以上を占めており、認知症や高次脳機能障害の方でも、家事動作を通じてその人らしさが引き出せるのではないかと考えました。そこで、介護福祉士をリーダーとし、認知症看護認定看護師、回復期リハビリテーション認定看護師、作業療法士との検討の結果、「自宅生活を想定したリアルな家事動作を導入しよう!」とチャレンジ体制を整えてきました。

毎日の院内デイに加え、調理クラブは毎月1回の活動です。おむすび作りやおはぎ作り、スイートポテト、チョコバナナ、味噌汁作りなど材料を切る、潰す、握る、混ぜるなどの家事動作を行いました。主婦歴が長い患者様は、隣患者と協力したり、物品を貸し出したりと、



『これが本来の姿なんだなぁ』と感じさせられる場面が多く見られています。

裁縫クラブは毎週1回の活動です。そうきん縫い、刺し子、お手玉作りを行っています。手慣れた手付きで誰ひとりとして、針を指にさすこともなく、ラッピングをしてご家族へのクリスマスプレゼントにしました。

活動を通じ、退院しても家事役割は行いたいという患者様の思いを知り、在宅生活に繋げるためにスタッフ内で知恵をしばり家事動作のアプローチが出来た事は介護職として大きな一歩だと思います。前向きに私たちが活動を行う事で、その人らしさや患者同士を繋げていくきっかけ作りにも繋がっていくと思います。今後も活動は継続して行い、患者様がやってみたいと思えるADL(したいADL)を引き出していきたくて考えています。



峡東地区

私のおすすめスポット



ワイントン直営店 晦日

(ワイントンチョクエイテン ミソカ)



ワイントン直営店晦日は、株式会社ミソカワイントンが生産するオリジナルブランド豚肉「ワイントン®」を多くの方に味わっていただきたい思いで、2022年5月にオープンいたしました。店名のとおり、ワイントンを使用した料理をご提供するほか、当店がある甲州市特産の食材・お酒をご用意し、皆さまに愛される飲食店として営業しています。

焼肉・しゃぶしゃぶの各コース料理をはじめ、定食や丼物、ワイントンオリジナルウイナーなど、ワイントン直営店晦日でしか堪能できないメニューを豊富にご用意しております。親しい仲間と、大切なご家族と、ゆっくり寛ぎながらワイントンの味をご賞味ください。



ワイントン直営店 晦日

〒409-1304 甲州市勝沼町休息1625-3

☎ 0553-34-8429

URL <https://www.wainton-misoka.jp/>

営業時間 11:00~14:00(L.O.13:00)

17:00~21:00(L.O.20:00)

※予約時のみ、16:00~可能

定休日 毎週水曜日、第2・第4火曜日

今回は晦日さんから「輪音」読者に特別プレゼント!

1名様につき **ソフトドリンク1杯 無料!**

来店時に「峡東地区の看護師です」と伝えてください。

プレゼント有効期間

令和6年12月1日~令和7年4月末日まで

輪音19号アンケートにご協力ください

会報委員会では、お読みいただいている会員の皆様を対象としたアンケートを実施しています。今後、より充実した会報誌「輪音」をお届けするため、皆様の率直なご意見・ご感想をお寄せください。

※本号から、webアンケートとなりました。

回答期限 令和6年12月25日(水)

回答ページURL ▶ <https://logoform.jp/f/Tqaeu>



スマートフォンからの
回答はこちらから

編集後記

皆様のご協力により「輪音19号」を発行する運びとなりました。
今回は新たにプラチナナースの皆様活躍も掲載させていただきました。今後も「輪音」を通じて峡東地域の皆様の活躍を紹介していけたらと考えています。
発行にあたり快く寄稿して下さった方々、ご協力いただきました皆様に感謝申し上げます。

会報委員

古屋恵美子	宮下 敏子
横瀬 愛	風間 芳美
金井 仁美	志村 麻貴
高橋 悦子	上田かおり
松本 君恵	